

密 漁

昨年千代田の暴力密漁團に對策の強化が要望されていたが今年度孵化場の對策は既に總額一八、九七八、六〇〇圓の豫算をもつて實施に移されている。

この密漁に對して事業課では

1. 従來から密漁の慣習がある
2. 密漁地は山間の僻地が多く捕獲が容易である
3. 密漁事犯は刑事犯の如く道義的背景が強くない
4. 河川住民が河川浜上魚に對する無主物觀念が抜けない
5. 罰則が軽い

等の理由をあげているが昨年度の甚しさに對しては根室標津方面の一部零細漁民は春鯨の不振を密漁で挽回せんとした

2. 盛漁地が釧路十勝方面に限定され、期間が極めて短かつた

3. 鮭鱈の統制徹底により密漁魚の販賣が自由になつた

4. 密漁監視員は臨時雇傭的なもので監視取締に責任と積極性がない

5. 沿岸に於ける漁業既得權者に對する弱少業者の反撥

6. 遵法精神の欠如

と考えてをり、これらの點に基いて計畫がたてられているが、この大要は

一、親魚の地元特賣

全捕獲魚の四割を拂下價格で地元の特賣する

二、警察官の河川取締

國警、重要河川九に對し延人員五四九名

自治警、十勝川に對して延人員八八一名

三、河川監守、監視員からの協力

全道十土木現業所管内計四八名

四、漁業監督公務員、

本、支場に六〇名を任命、重要河川に對して

二二名を常駐する

五、監視船の配置

十七河川湖沼に對し十八隻の動力船、十二隻の河舟を配置する

六、密漁取締監視員の増員

五二河川湖沼に對し二五八名の監視員と一二

九の屯所を配置する

このほか啓蒙對策としては揭示板の設置、座談會の開催、リーフレットの配布等があげられているが新な試みとしては取締獎勵金の交付、有棘鐵線をつけた土俵の沈下が計畫されてをり、その成果が期待されている。